

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 倉庫精練株式会社

コード番号 3578 URL <http://www.soko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長高 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 森野 宏司

TEL 076-291-3811

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,502	△28.8	△102	—	△71	—	△73	—
21年3月期第1四半期	2,112	—	△5	—	24	—	13	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△7.26	—
21年3月期第1四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
22年3月期第1四半期	5,806	—	2,805	—	47.4	272.91		
21年3月期	6,044	—	2,851	—	46.3	277.51		

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,753百万円 21年3月期 2,799百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	—	3.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は当期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	3,300	△19.0	△75	—	△40	—	△50	—	△4.95
当期	6,850	△6.4	△50	—	60	—	40	—	3.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[注 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 10,120,000株 | 21年3月期 | 10,120,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 31,868株 | 21年3月期 | 31,868株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 10,088,132株 | 21年3月期第1四半期 | 10,093,049株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成21年5月15日発表の通期連結業績予想を修正していません。
- 2.上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年からの世界的な金融不安による景気後退の影響を受け、輸出関連企業をはじめとして企業収益は著しく減少し、雇用の悪化や個人消費の低迷等により、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当企業グループは、コスト削減、製品の高付加価値化に努めましたが、表立った効果を示せず、売上の減少をカバーするに至りませんでした。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15億2百万円(前年同期比28.8%減)、経常損失は71百万円(前年同期比96百万円の減益)、四半期純損失は73百万円(前年同期比87百万円の減益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

(1) 繊維事業

委託加工部門においては、衣料品の国内需要の低迷と、円高の影響から衣料の輸出指図が大きく減少し、自動車の販売不振から車輻シート材は落ち込みが続き、売上高は10億20百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

製品販売部門においては、産業資材は、印刷基布が需要の低迷・在庫調整から売上高は減少し、また、衣料関係においても国内需要の低迷が直撃し、全体に不振に終わりました。その結果、売上高は4億4百万円(前年同期比30.0%減)にとどまりました。

以上の結果、繊維事業全体における売上高は、保管料収入を含めて14億48百万円(前年同期比26.1%減)、営業損失は89百万円(前年同期比79百万円の減益)となりました。

(2) その他の事業

内装業については、国内景気の落ち込みから、住宅に対する投資意欲の低下による影響を受け、また機械製造・修理事業においては、繊維事業同様厳しい環境のなか、固定費の削減および外注の内製化に努めてきましたが、苦戦を強いられました。以上の結果、その他の事業における売上高は54百万円(前年同期比64.3%減)、営業損失は5百万円(前年同期比14百万円の減益)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は26億80百万円で、前連結会計年度末に比べ2億17百万円減少しました。これは、現金及び預金が1億17百万円、受取手形及び売掛金が1億2百万円とそれぞれ減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は31億25百万円で、前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産では、機械装置等の減価償却費等で78百万円の減少、投資その他の資産では、投資有価証券の時価評価額の変動により46百万円の増加となったことがあげられます。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は16億54百万円で、前連結会計年度末に比べ2億36百万円減少しました。主な要因は、短期借入金が91百万円、その他流動負債が1億1百万円といずれも減少したことがあげられます。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は13億46百万円で、前連結会計年度末に比べ44百万円増加しました。これは、長期借入金が24百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は28億5百万円で、前連結会計年度末に比べ46百万円減少しました。これは、利益剰余金が73百万円減少したことが主な要因です。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失70百万円や、仕入債務41百万円の減少等があったものの、非資金取引である減価償却費96百万円、売上債権1億2百万円の減少等により、81百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億19百万円の有形固定資産の取得による支出等により、1億31百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の純増加額53百万円がありましたが、1億20百万円の短期借入金の返済による支出等があり、67百万円の支出となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4億30百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億17百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に発表いたしました平成22年3月期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	523,816	641,635
受取手形及び売掛金	1,329,299	1,432,218
商品及び製品	214,194	227,594
仕掛品	140,330	149,200
原材料及び貯蔵品	307,571	293,093
その他	179,729	169,545
貸倒引当金	△14,011	△15,005
流動資産合計	2,680,930	2,898,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,159,490	1,180,295
機械装置及び運搬具(純額)	904,310	965,785
その他(純額)	239,084	235,537
有形固定資産合計	2,302,885	2,381,617
無形固定資産	8,611	8,346
投資その他の資産		
投資有価証券	728,101	681,858
その他	85,824	74,571
投資その他の資産合計	813,926	756,429
固定資産合計	3,125,423	3,146,393
資産合計	5,806,353	6,044,676

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,081,796	1,123,722
短期借入金	201,200	293,000
未払法人税等	3,160	4,485
賞与引当金	25,860	25,895
その他	342,180	443,575
流動負債合計	1,654,197	1,890,678
固定負債		
長期借入金	281,800	257,000
退職給付引当金	828,563	826,204
役員退職慰労引当金	37,453	38,605
負ののれん	10,555	10,784
その他	188,258	169,601
固定負債合計	1,346,631	1,302,195
負債合計	3,000,829	3,192,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	130,686	130,686
利益剰余金	1,931,972	2,005,214
自己株式	△5,578	△5,578
株主資本合計	2,563,080	2,636,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	190,097	163,240
評価・換算差額等合計	190,097	163,240
少数株主持分	52,346	52,238
純資産合計	2,805,524	2,851,802
負債純資産合計	5,806,353	6,044,676

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,112,168	1,502,861
売上原価	1,928,693	1,434,762
売上総利益	183,474	68,099
販売費及び一般管理費	189,243	170,109
営業損失(△)	△5,769	△102,009
営業外収益		
受取利息	477	193
受取配当金	6,806	5,496
持分法による投資利益	—	1,244
その他	34,656	37,296
営業外収益合計	41,940	44,231
営業外費用		
支払利息	1,201	2,477
持分法による投資損失	2,408	—
その他	7,965	11,722
営業外費用合計	11,575	14,200
経常利益又は経常損失(△)	24,596	△71,979
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,210
特別利益合計	—	1,210
特別損失		
固定資産処分損	1,475	222
特別損失合計	1,475	222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23,121	△70,990
法人税等	6,887	1,591
少数株主利益	2,316	660
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,917	△73,242

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	23,121	△70,990
減価償却費	98,641	96,683
持分法による投資損益(△は益)	2,408	△1,244
有形固定資産処分損益(△は益)	1,475	222
その他の償却額	△7	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△75,424	2,359
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,224	△1,151
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,370	△35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△182	△994
受取利息及び受取配当金	△7,283	△5,689
支払利息	1,201	2,477
売上債権の増減額(△は増加)	21,735	102,918
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31,758	7,793
仕入債務の増減額(△は減少)	79,404	△41,925
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,573	△9,274
その他の負債の増減額(△は減少)	△13,746	△13
小計	81,864	81,119
利息及び配当金の受取額	7,283	5,689
利息の支払額	△1,304	△2,077
法人税等の支払額	△7,349	△3,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,494	81,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,541	△119,248
従業員に対する貸付金の回収による収入	3,234	2,069
長期前払費用の取得による支出	—	△13,441
その他の支出	△1,260	△920
その他の収入	48	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,518	△131,539
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△160,000	△120,000
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	—	△47,000
配当金の支払額	△30,290	—
少数株主への配当金の支払額	△570	△570
財務活動によるキャッシュ・フロー	109,139	△67,570
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,115	△117,819
現金及び現金同等物の期首残高	600,320	548,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	683,435	430,816

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	繊維事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,448,407	54,454	1,502,861		1,502,861
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		33,604	33,604	(33,604)	
計	1,448,407	88,058	1,536,465	(33,604)	1,502,861
営業損失()	89,581	5,734	95,315	(6,694)	102,009

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

(1) 繊維事業.....各種繊維製品の染色加工及び製造販売

(2) その他の事業.....各種機械の製造販売及び内装業等の繊維事業以外の事業

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。